

令和二年五月十日(日) 午前九時十五分始

福岡市中央区大濠公園一―五

於 大濠公園能楽堂

電話 〇九二(七一五) 二一五五番

初陽会

御来場歓迎
入場無料

主催

武田 武田 宗宗
和田 宗宗
初陽 会典和

電話 〇三(三三五九) 二七八三番

※開演中の写真撮影・録音等は固くお断り申し上げます

番組

連吟

巴

長崎県建築士会長崎支部

平野啓子
山口秀子
後藤美香
中村啓子

素謡

江

口

ツレ武田祥照

シテ玉井美登利

ワキ武田文志

地謡

多久島法子
鷹尾維教
武田宗和
武田友志

東

北

シテ井久保千代子

ワキ武田宗典

地謡

木月晶子
鷹尾章弘
松木千俊
佐川勝貴

野

宮

シテ瀬来玲子

ワキ武田友志

地謡

多久島法子
武田文志
武田宗典
坂口貴信

俊

寛

成経今村一夫
康頼鷹尾章弘

シテ廣田睦子

ワキ山本章弘

地謡

武田祥照
武田尚浩
武田宗和
鷹尾維教

砧

ツレ武田宗典

シテ中原伯子

ワキ武田志房

地謡

佐川勝貴
松木千俊
武田宗和
坂口貴信

松

風

ツレ木月晶子

シテ平野敦子

ワキ武田尚浩

地謡

今村一夫
山本章弘
岡本久広
武田宗典

独吟

高

砂

鴛淵幸子

仕舞

女郎花

後藤美香

地謡

木月晶子
武田文志
武田宗典
今村一夫

番離子

(十二時半頃)

ツレ多久島法子

シテ岩本美智子

筐

ワキ武田宗和

大鼓白坂保行

笛藤田貴寛

ワキツレ武田祥照

小鼓鶴澤洋太郎

武田宗典
鷹尾維教
武田志房
松木千俊
武田友志

花

素謡

ツレ佐川勝貴

恋重荷

シテ篠田いつ子

ワキ岡

久広

地謡

武田文志
武田宗和
武田志房
山本章弘

山

姥

ツレ坂口貴信

シテ瀬尾律子

ワキ松木

千俊

地謡

武田祥照
鷹尾維教
武田宗和
武田友志

能

シテ石川るみ子

輪

ワキ御厨誠吾

大鼓白坂保行

洋太郎

太鼓吉田貴寛

鷹尾章弘
岡久弘
武田志房
山本章弘

間野村万禄

後見

武田宗典
武田尚浩

地謡

佐川勝貴
今村一夫
武田文志
坂口貴信

三

(二時十分頃)

素 謡

法皇鷹尾維教

内侍木月晶子

局多久島法子

大原御幸

シテ八坂京子

ワキ武田宗和

地謡

武田宗典 武田尚浩 武田志房 松木千俊 武田祥照

舞 離子

頼 政

瀬尾律子

大鼓白坂保行
小鼓鵜澤洋太郎 笛 藤田貴寛

地謡 坂口貴信 武田友志

鷹尾章弘 武田宗和 岡田久弘

西 行 桜

篠田いつ子

大鼓白坂保行 太鼓吉谷
小鼓鵜澤洋太郎 笛 藤田貴寛

地謡 多島法子 木月晶子

山本章弘 武田宗和 武田尚浩

番外

仕 舞

采

女キリ

武田宗典

地謡

武田祥照 坂口貴信 武田友志 佐川勝貴

舞 離子

祝言

岩

船

武田宗和

大鼓白坂保行 太鼓吉谷
小鼓鵜澤洋太郎 笛 藤田貴寛

地謡 佐川勝貴 今村一夫

武田文志 岡田久弘 鷹尾章弘

(終了予定 午後五時)

※左記の通り素謡の一部を省略させて頂きます

江 口 ワキ名ノリ・道行、及ビクリ・サシ・クセ

東 北 ワキ名ノリ・道行、及ビクリ・サシ・クセ

野 宮 ワキサシ・下歌、及ビ初同アトロンギへ

俊 寛 ツレサシ、二人が果にて候なりノアトシテノ出へ
及ビ飲むからに

砧 ツレ道行、三年の秋の、古里のヨリ省キ、文月七日の
及ビ聲も枯野の

松 風 ワキへあら嬉しやヨリ省キシテノ出へ

へ影恥かしき、及ビ戀草の・クセ

花 筐 へ君と住む、こがれ行く、及ビ

へ叫び伏して泣き居たりアトワキへ宣旨にてあるぞへ

恋 重 荷 ワキへいかに誰かあるヨリ省キへいかに莊司へ

山 姥 ワキ名ノリ・サシ・道行、及ビクリ・サシ・クセ

大原御幸 シテノ出ヨリ始メへ古りにけるヨリ省キ、後シテノ出へ

へ一念の窓の前、及ビ法皇へ先つ頃ヨリ省キへ實にありがたきへ